

東区まちづくりプラン 2020年度（令和2年度）実績

2 みんなで支え合うまちづくり

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指標						新型コロナウイルス感染症の影響	実施時期 (変更があった場合の実施時期)	評価	取組内容	検証シートページ
					2019年度実績	2020年度(令和2年度)			2025年度	2030年度					
						目標値	年度末実績	進捗率							
(1)認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応	認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。		○	(ア)認知症サポーターになろう！	認知症サポーター養成講座の実施校数						大	通年 (7月～3月)	△	新型コロナウイルス感染症による臨時休校の影響で、多くの学校が実施困難となったが、校長会等で可能な範囲での協力を依頼し、9校で実施した。	9
				小学校11/12、 中学校5/6、 高等学校4/5、大学2/2	小学校12/12 中学校6/6 高等学校5/5、大学2/2	小学校2/12 中学校4/6 高等学校2/5、大学1/2	36%	小学校12/12 中学校6/6 高等学校5/5、大学2/2	小学校12/12 中学校6/6 高等学校5/5、大学2/2						
(2)高齢者の健康づくり、介護予防の推進	介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。		○	(イ)認知症支えあいカフェを広めよう！	認知症支えあいカフェの設置地区数						大	通年 (6月～3月)	◎	2地区（早稲田、温品）において、新規に認知症支えあいカフェを設置した。感染症の再拡大により、全てのカフェが活動休止したが、3月末時点で徐々に再開している。	10
				8/13地区	9/13地区	10/13地区	200%	13/13地区 (2024年)	13/13地区						
(3)地域ぐるみ子育て支援	子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。		○	いきいき百歳体操に取り組もう！	拠点数と参加者数						大	通年 (6月～3月)	◎	新型コロナウイルス感染症の再拡大によりほとんどの拠点が活動休止となったが、3月末時点で93%が活動を再開している。	11
				73拠点 1,685人	99拠点 1,980人	97拠点 2,276人	200%	155拠点 3,100人	次期プランに併せて提示						
(4)地域共生社会の実現に向けた取組	少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。		○	(ア)「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	地域支えあいリストの掲載件数						大	9月	◎	「地域の通いの場」として新たに「こども食堂」の情報を追加する等により、掲載件数を増やした。また、7月に、新たに区内19か所の郵便局にリストを設置して区民への周知を図った。	13
				296件	313件	326件	176%	374件	2025年度に作成						
(4)地域共生社会の実現に向けた取組			○	(イ)医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	医療介護関係者と地域団体が連携した地区数						大	通年 (7月～3月)	◎	認知症支えあいカフェ2か所の新規立ち上げに当たり、医療介護関係者が支援を行った。また、高齢者の通いの場3か所に薬剤師を派遣し、健康教育を実施した。	14
				-	2/13地区	4/13地区	200%	13/13地区	13/13地区						
(4)地域共生社会の実現に向けた取組			○	(ウ)地域共生社会実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	多世代の交流の場の開催地区数						大	通年 (7月～3月)	◎	新型コロナウイルス感染症の影響で収益が減少した障害者支援事業所の販路拡大のため、2か所の郵便局において、自主製品の販売を実施した。	15
				2/13地区	4/13地区	4/13地区	100%	13/13地区	13/13地区						
(4)地域共生社会の実現に向けた取組			○	(エ)要支援者を地域で支えよう！ 【再掲】1-(2)	対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数						大	通年	◎	実態調査の結果、「避難支援者がいない」「実態不明」と回答した77人のうち、3人（福田・馬木・矢賀各1人）の個別計画を作成した。	3
				4/13地区	6/13地区	6/13地区	100%	13/13地区 (2024年)	更新						
(5)地域で取り組む生活習慣病予防	平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、健診受診者を増やすことにより健康寿命を延ばす。		○	(ア)元気に健診を受けよう！	特定健康診査受診率						大	通年 (6月～3月)	○	新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えがあるため、区役所等での啓発動画やFacebook、地域でのチラシ配布等、受診率向上に向けたPRを積極的に行った。	16
				20.4%	35%	18.5% (3月末暫定値)	53%	50% (2023年度)	85%						
				(イ)野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	地元野菜を活用したレシピの数										
-	2品/年	2品/年	100%	2品/年	2品/年										
(5)地域で取り組む生活習慣病予防			○	(ウ)東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！	「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合						大	10月 (一)	中止	健康ウォーキングの集いは中止。感染対策の上、上品学区でウォーキング教室を開催し自主グループ化に向けて支援した。また、上品学区社会福祉協議会のウォーキングの取組を好事例とし、他の地域へ紹介した。	18
				6%	10%以上	0%	0%	20%以上	20%以上						